

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和7年 7月 30日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
大阪府豊中市蛍池西町2丁目7-26

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
株式会社日本電気化学工業所
代表取締役 倉智 真平

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、 [事業者行動計画を策定 (変更)] したので、提出します。
[事業者行動報告書を作成]

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社日本電気化学工業所 代表取締役 倉智 真平
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	大阪府豊中市蛍池西町2丁目7-26

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社日本電気化学工業所 滋賀工場								
事業所の所在地	滋賀県湖南市夏見1101								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	4	6	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 その他の金属表面処理業			
事業の概要	アルミニウムの各種表面処理加工								
従業員の数	65	人	操業時間	24時間/日					
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	6	台	照明設備	105	台
	コンプレッサ	8	台	空気調和設備	10	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	6	年度	報告対象年度	6年度
	終了年度	11	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

弊社NACLグループ方針に基づき、環境宣言に積極的に取り組み、低炭素社会の構築に寄与していきます。

基本理念

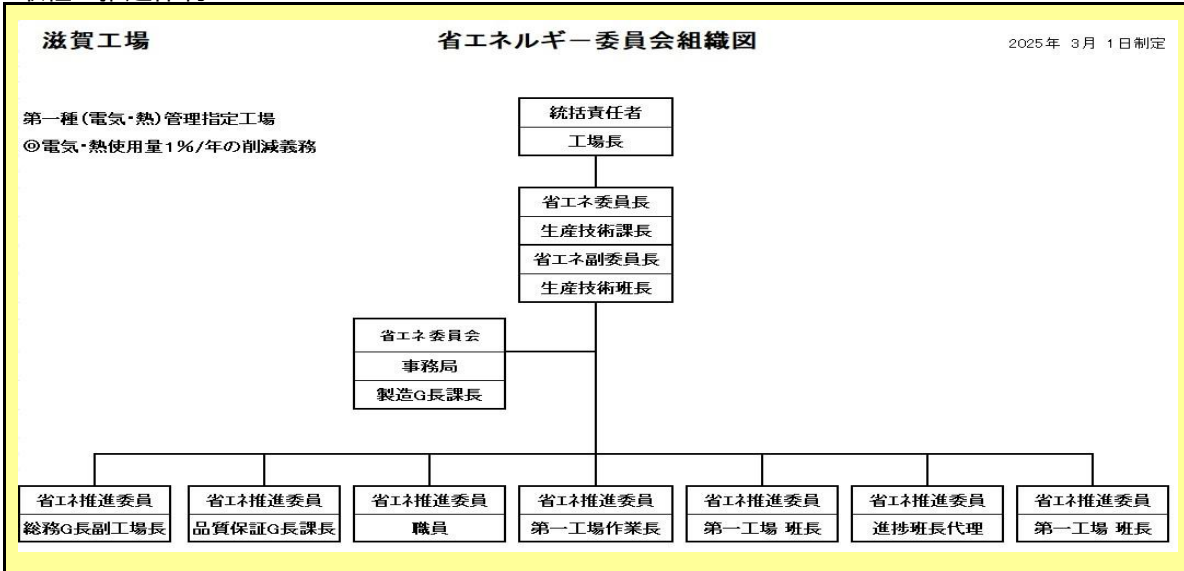
株式会社 日本電気化学工業所は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

方針

株式会社 日本電気化学工業所は、アルミニウム各種表面処理加工の製造・販売に係わる全ての活動、製品及びサービスが地球環境に与えている負荷を、以下の方針に基づき低減することに努めます。

1. 当社の活動、製品及びサービスが地球環境に与えている負荷を常に認識し、継続的な改善及び汚染の予防を図ります。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法令を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスが地球環境に与えている負荷のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 電力使用量の削減
 - (2) 燃料使用量の削減
 - (3) 産業廃棄物排出量の削減
 - (4) 工場周辺の清掃等啓発活動
 - (5) ガス使用量の削減
 - (6) 薬品使用量の削減

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネルギーについては、以下の取組を行っている。

- 冷凍設備の高効率型に更新
- 燃料転換(都市ガス化)
- 蒸気ボイラーの高効率型に更新
- 焼付炉の高効率バーナーに更新
- 各種循環ポンプの一部インバーター化
- 集中生産による、生産性向上
- 高温槽の液面養生による放熱ロスの低減
- 高効率照明器具への一部更新
- 蒸気配管の放熱ロスの低減
- 月1回の省エネ委員会の開催及び年4回の全社省エネ推進会議への参加
- 冷却塔ファンのインバーター化
- エアコンプレッサーの高効率型に更新
- 高効率空調機器への更新

これらの取組により、令和6年度(2024年度)末までに、温室効果ガス排出量を2013年度比で44%削減した。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	冬季冷凍機停止、クーリングタワーでの冷却を自動化により効率改善	R6年～	検討中
2	設備導入	冷凍機冷却水ポンプのインバーター化	R6年～	継続実施中
3	設備導入	照明器具の高効率化	R6年～	計画通り実施中 (全体の約93%完)
4	プロセス改善	不良率低減と設備ロス低減により、エネルギーロスを削減する	R6年～	継続実施中
5	設備導入	熱交換器の冷水バイパス運転をポンプ発停式に変更	R6年～	継続実施中

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>目標: 令和5年度を基準年度として、以下の目標数値達成を目指します。</p> <p>「エネルギー使用量の原油換算kL/生産量m³」原単位で、毎年1%の削減</p> <p>なお、原単位の考え方は次の通りです。</p> <p>温室効果ガス排出量は製品の生産性に大きく影響を受ける為、生産量を原単位の指標(分母)として設定しました。</p>	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告						
		(6)年度	()年度	()年度	()年度	()年度		
原油換算エネルギー使用量	kL	2,966	3,046					
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	5,006	5,391					
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	5,006	5,391					
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂							
CH ₄	t-CO ₂							
N ₂ O	t-CO ₂							
HFCs	t-CO ₂							
PFCs	t-CO ₂							
SF ₆	t-CO ₂							
NF ₃	t-CO ₂							
エネルギー等原単位の推移		0.572						

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	非化石化率の高い電力メニューへの転換	令和6年～令和12年	令和6年度から事前調査に着手した。
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	・2030年までに使用電気全体に占める非化石電気比率を5%にするべく非化石化率の高い電力メニューへの 転換を進める。
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	0 kW	水力・小水力	0 kW	地熱	0 kW
太陽熱	0 kW	バイオマス	0 kW	その他 ()	0 kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0				
上記のうち自家消費量	kWh	0				

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
			(6)年度	()年度	()年度	()年度	()年度	
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	5,006	3,046					
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	5,006	3,046					
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.360	0.419					
特記事項								

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度	
グリーン証書の購 入	t-CO ₂	0						
クレジットの購入	t-CO ₂	0						
特記事項								

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	燃費向上 運転の実 践	・エコドライブ10を実践する。	R6年～	継続実施中
2	CO ₂ 排出 量の削減	・駐車場内はアイドリングストップを実践する。	R6年～	継続実施中
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	保有車輛の数	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
		台	1					
	上記のうち 次世代自動車等の 数	台	1					
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	廃棄物の分別、削減、再利用化を推進する	R6年～	継続実施中
2				
3				
4				
5				